



平成24年3月2日
財団法人日本ナショナルトラスト

財団法人日本ナショナルトラスト SEEDS OF FURUSATO
～東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト～
平成24年度支援事業・パートナー事業（第1次）の支援対象決定について

平成23年3月11日に発生した未曾有の大災害は、地域にとって大切な多くの自然・文化遺産にも甚大な被害を及ぼしました。

これら自然・文化遺産は地域のシンボルといえるものであり、後世に継承すべき貴重な国民的財産です。こうした自然・文化遺産が広域にわたる被災により存続の危機に瀕している一方で、国や地方公共団体による支援が及びにくいものが多数存在する状況にかんがみ、財団法人日本ナショナルトラストでは、「SEEDS OF FURUSATO～東日本大震災自然文化遺産復興支援プロジェクト～」を立ち上げました。

この度、当財団が設置した各分野の有識者らによる委員会の公正な審査を経て、平成24年度支援事業及びパートナー事業（第1次）の支援対象が決定いたしましたので発表いたします。

1. 名称

財団法人日本ナショナルトラスト 東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト
（プロジェクト愛称：SEEDS OF FURUSATO）

2. 目的

東日本大震災で被災した自然・文化遺産で、地域（まち）のシンボルでありながら国や地方公共団体による支援の及びにくいものの復旧・復興を支援することにより、住民が地域風土に根差した暮らしを取り戻すとともに当該遺産の観光資源としての保護活用への礎を築くことを目的とする。

3. 内容

- （1）支援事業・・・所有者または管理者が実施する修理・復旧に要する経費の一部を助成する事業
 - ・平成24年度より平成33年度までの10年間の予定でそれぞれの年度ごとに実施
 - ・申請のあった対象を委員会で選定し、予算の範囲内において事業に要する経費の一部を助成（上率80%、上限1件250万円）
- （2）パートナー事業・・・対象遺産の復旧・復興を支援する活動を行う団体と連携して実施する事業
 - ・採択より平成33年度までの10年間の中でパートナー団体が定めた期間（平成25年3月までを募集期間とし、現在も公募を行っている）
 - ・パートナー団体が主となって復旧・復興計画の策定、募金目標の設定と募金活動、地域等との協力体制の構築等に努め、当財団はコーディネート、特定募金の呼びかけ、広報、情報発信等を行い、協力して対象遺産の復旧・復興に努める。

4. 支援対象

- （1）有形文化財（建造物等の不動産文化財）
- （2）記念物（遺跡・名勝地・天然記念物・文化的景観）
- （3）民俗文化財及び無形文化財

5. 対象の要件

- (1) 地域（まち）のシンボルとして地域住民に認識され、周知されているもの
- (2) 地域において保存・活用の気運のあるもの又は今後予想されるもの
- (3) 歴史的、文化的、景観的な要件のいずれかの価値を認められるもの

6. 事業への応募状況と採択件数（詳細別紙）

- (1) 平成 24 年度支援事業（平成 23 年 12 月 16 日締切）

応募件数：56 件（有形文化財 42 件、記念物 7 件、民俗・無形 7 件）

採択件数：16 件（有形文化財 9 件、民俗・無形 7 件）（別紙 1）

採択事業の総事業費計 48,013 千円 助成決定額計 20,906 千円

- (2) パートナー事業（平成 25 年 3 月 29 日締切）

応募件数：4 件（有形文化財 4 件）（※平成 24 年 2 月末日現在）

採択件数：2 件（有形文化財 2 件）（別紙 2）

支援事業（一部）



森秀織物工場・森島家住宅【桐生市】



菊池捍邸及び文庫蔵【花巻市】



磯田家見世蔵【結城市】



多福院板碑群・近世墓碑【石巻市】



請戸獅子舞【浪江町】



磯部上古芸能【相馬市】

パートナー事業



尾形家住宅修復保存プロジェクト【気仙沼市】
（気仙沼・尾形家修復保存会）



机浜番屋群再生プロジェクト【田野畑村】
（机浜番屋群再生プロジェクト実行委員会）

7. 今回の申請状況の概要と今後の課題

平成 24 年度支援事業の申請状況は、建造物の申請が大部分を占めるものの、津波被害の大きい岩手・宮城・福島沿岸部からは建造物、記念物の申請はごくわずかにとどまった。

自治体等からの情報により、所有者の被災状況の深刻さや、修理・復旧方針が定まらないなどの理由から、所有者に保存の意思はあるものの、申請に至っていないものが少なくない。所有者にとっては、経費的支援だけでなく、専門家等の適切な助言・協力が不可欠であり、国や学会等との連携により技術面での支援にも努めたい。

また一方で、北関東に所在する建造物にも大きな被害を受けているが、東北地方を中心とした被害の陰に隠れてしまい、あまり認識されていないことで復旧・復興への支援が十分に及んでいないことも考慮して対象を選定した。

今後の募集については、本プロジェクトの周知強化をはかり、一つでも多くの自然・文化遺産について、より時機を得た支援を行い、地域（まち）のシンボルの復旧・復興に寄与できるよう努めていく。

8. 今後のスケジュール（予定）

SEEDS OF FURUSATO～東日本大震災自然・文化遺産復興支援プロジェクト～スケジュール																		
	23年度			24年度										25年度	26年度	……	33年度	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	4月	……	4月	
支援事業	▼24年度支援対象発表													▼25年度支援事業審査				
											▼25年度支援対象発表		以降支援事業は同サイクルで実施					
	復旧・復興事業の実施										▼25年度支援対象発表		観光資源としての保存・活用					
パートナー事業	▼第1次支援対象発表													▼25年度支援対象発表				
	▼パートナー協定の締結			JNTIによる広報・情報発信・コーディネート										▼パートナー事業応募締切				
	パートナー団体による復旧・復興計画の策定、地域等との協力体制の構築																	
	パートナー団体による募金活動・JNTIによる特定募金の呼びかけ																	
													目標金額達成次第復旧・復興事業実施					

【東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト事務局】

財団法人日本ナショナルトラスト（事業課 吉田・土井）
 〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地
 TEL: 03-6380-8511 FAX: 03-3237-1190
 Email: fukkoushien@national-trust.or.jp
 HP: <http://www.national-trust.or.jp/shinsaishien.html>

財団法人日本ナショナルトラスト 東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト 平成24年度支援事業対象遺産

No	県	市町	種別	対象遺産名	文化財指定等	事業費 (千円)	申請額 (千円)	交付決定額 (千円)	事業概要	採択事由
1	青森県	八戸市	有形	ハチノヘシヨウブンコクラ 八戸酒造文庫蔵	国登録(H22.9) 市景観重要建造物	3,465	2,500	2,000	壁土崩落部分修復、漆喰塗り直し	対象遺産を含む八戸酒造の建造物群は、八戸市の景観重要建造物にも指定され、歴史・文化を活かしたまちづくりの中核的存在でもある。公開も積極的に行なわれており、津波被災地でもあることから、支援効果が高い。
2	岩手県	盛岡市	有形	キョウイシケンレイシテイ 旧石井県令私邸	市自然環境及び歴史的環境保全条例の規定による保存建造物(S52.1)	3,000	2,400	1,500	亀裂破損した煉瓦構造体及び煉瓦煙突部の修復、伝統的な漆喰塗工法による左官壁塗り直し、木部補修	盛岡市に現存する最古の洋風建築のひとつであり、盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例に基づく保存建造物にも指定され、シンボリック要素も強い。設計監理体制も確立している。
3	岩手県	花巻市	有形	キクチマモルテイ 菊池捍邸及び文庫蔵	未	2,500	2,000	1,500	外壁土壁改修、母屋漆喰亀裂補修	宮沢賢治の寓話「黒ぶだう」のモデルとされている建物で、市民による長年の保存活動や、官民あげたまづくり機運の高まりがみられ、その拠点として、今後ナショナル・トラスト活動への発展が期待できる。設計監理体制も確立している。
4	岩手県	釜石市	無形民俗	リョウシトラマイ 両石虎舞	市指定無形(H10.7)	2,407	1,925	500	流失した装束・虎頭・太鼓等購入、製作	釜石の虎舞は4件の申請があり、郷土芸能の復活は地域コミュニティの維持にとって不可欠なものであることから、一括で助成を決定した。なお、助成額については、他の民間からの助成や、自己負担に占める助成率を考慮して決定した。
5	岩手県	釜石市	無形民俗	カタギシトラマイ 片岸虎舞	市指定無形(H10.7)	3,928	2,342	800	流失した太鼓・笛・装束等購入、虎頭木彫り製作委託	釜石の虎舞は4件の申請があり、郷土芸能の復活は地域コミュニティの維持にとって不可欠なものであることから、一括で助成を決定した。なお、助成額については、他の民間からの助成や、自己負担に占める助成率を考慮して決定した。
6	岩手県	釜石市	無形民俗	ウノスマイトラマイ 鶴住居虎舞	未	3,000	2,400	950	流出した装束・虎頭等購入	釜石の虎舞は4件の申請があり、郷土芸能の復活は地域コミュニティの維持にとって不可欠なものであることから、一括で助成を決定した。なお、助成額については、他の民間からの助成や、自己負担に占める助成率を考慮して決定した。
7	岩手県	釜石市	無形民俗	オサキチヨウ 尾崎町 虎舞	市指定無形(H10.7)	1,080	864	300	焼失した衣装購入	釜石の虎舞は4件の申請があり、郷土芸能の復活は地域コミュニティの維持にとって不可欠なものであることから、一括で助成を決定した。なお、助成額については、他の民間からの助成や、自己負担に占める助成率を考慮して決定した。
8	宮城県	石巻市	有形	タフクインイタヒダン 多福院板碑群・近世墓碑	多福院板碑群：市指定(S50.6)	320	256	256	倒壊、傾斜、破損した板碑群の復元	中・近世の歴史資料として貴重なものであり、津波被害の大きかった地域にあって早急な復旧が望まれる。また、宮城県内の有形文化財の支援対象としても妥当である。
9	福島県	相馬市	無形民俗	イソベジョウコクノウ 磯部上古芸能	未	2,893	2,314	860	流失した太鼓・笛・着物等の購入	相馬の手踊りは2件の申請があり、郷土芸能の復活は地域コミュニティの維持にとって不可欠なものであることから、「寄木神社の芸能」と一括で助成を決定した。
10	福島県	相馬市	無形民俗	ヨリキジンジャグノウ 寄木神社芸能	未	2,472	1,978	720	流失した子ども手踊りの着物等購入	相馬の手踊りは2件の申請があり、郷土芸能の復活は地域コミュニティの維持にとって不可欠なものであることから、「磯部上古芸能」と一括で助成を決定した。
11	福島県	二本松市	有形	コハタヤマオキツ 木幡山隠津島神社拝殿	市指定(S51)	4,322	2,500	2,000	礎石補強改修、拝殿修復	典型的な神奈備山として古代からの信仰の山として地域のシンボリック的存在である。また、毎年12月に開催される「木幡の幡祭り」は国指定重要無形民俗文化財に指定されており、対象遺産はその中核的要素として重要な建造物であり、その復旧による地域復興への寄与も大きいと考えられる。
12	福島県	浪江町	無形民俗	ウケトシシマイ 請戸獅子舞	未 例大祭「安波祭り」(町指定無形民俗文化財)で披露	965	772	620	流失した用具、衣装の調達	郷土芸能の復活は地域コミュニティの維持にとって不可欠なものであること、また津波被害だけでなく原発事故被害の大きさも考慮の上決定した。
13	茨城県	結城市	有形	イソダケミセクラ 磯田家見世蔵	未	4,680	2,500	2,000	漆喰部補強、木製下地杉板加工	結城市の歴史的建造物は3件の申請があり、町並みの保存として対象候補とした。市とも協議の上、他の補助対象とならない本物件を助成対象として決定した。
14	栃木県	真岡市	有形	キュンモツケボウセキジョウ 旧下野紡績所建物	市登録(H11.1)	4,700	2,500	2,400	破損した石積壁、内部梁、屋根等の修復及び補強	県の伝統工芸である真岡木綿のまちづくりの拠点として今後の活用が期待される。調査・設計監理体制もすぐれており、また本助成事業を知って所有者が保存を決定されたという経緯からも、事業実施後の連携協力が期待できる。
15	栃木県	小山市	有形	ニシボリシヨウ 西堀酒造	国登録(H20.4)	4,966	2,500	2,500	外壁・屋根修理	現役で活用されている文化財として、日常的に公開に努めており、文化遺産としての価値、地域の景観資源としてのシンボリック性も高い。広大な敷地に数多くの歴史的建造物を有する所有者の負担は大きく、助成の緊急性が高い。
16	群馬県	桐生市	有形	モリヒデオリモノコウジョウ 森秀織物工場・森島家住宅ほか (織物参考館“紫”)	国登録(H18.8)	3,315	2,500	2,000	屋根・内外壁の補修他	市の伝統産業である織物産業の重要な遺構であるとともに、利活用の先進的な施設であり日常的に公開・活用されている。数多くの歴史的建造物を有する所有者の負担は大きく、助成の緊急性が高い。また、行政からの応援体制も強く、今後のまちづくり機運の向上にとっても効果が大きいと考えられる。
合計金額						48,013	32,251	20,906		

①	対象プロジェクト	机浜番屋群再生プロジェクト	所在地	岩手県田野畑村	所有者 (管理者)	机浜番屋群保存活用協議会
	パートナー団体名	机浜番屋群再生プロジェクト実行委員会(代表者 上机莞治)	事業費	5,001千円	活動の期間	H23.7~H28.3(予定)
	活動の実施体制	・H18年、所有者と管理者により組織された「机浜番屋群保存活用協議会」、NPO、大学や専門家、地元住民など内外のサポーターを加えて組織された実行委員会が実施。 ※事務局:田野畑村役場復興対策室内				
	公開・活用状況	・H14年、地元青年会による保存活動を契機に観光交流拠点としての展示等を開始。H18の指定を受け、観光客や修学旅行生の受入を行い、地域文化の学習や体験ができ、住民と観光客の交流拠点として通年での活用を行っていた。				
	対象遺産の概要と被害状況	・S8年三陸大津波以降に再建された漁師の作業小屋や倉庫など、大小25棟の番屋建造物群等。(平成18年水産庁「未来に残したい漁業漁村歴史文化財百選」指定) ・津波により流失全損。				
	事業概要	・番屋再生構想づくりとシンボリックな番屋の再建 ・都市サポーターへの支援(登録金・ボランティア)呼びかけ、情報発信 ・番屋群再生後の活用・展開に向けた活動				
	採択事由	・青年会を中心とする住民の保存活動を契機に、行政の密な連携体制により活発な観光交流に取り組みられてきた実績と、外部の専門家やサポーターの参加協力によるむらづくりの拠点としてのシンボリック性を評価した。				
②	対象プロジェクト	尾形家住宅修復保存プロジェクト	所在地	宮城県気仙沼市	所有者	尾形 健
	パートナー団体名	気仙沼・尾形家修復保存会(代表者 後藤治)	事業費	205,679千円	活動の期間	H23.4~H29.3(予定)
	活動の実施体制	・文化財建築および民俗専門家らによる保存会が主体となり、ボランティアに参加してもらいながら、文化庁をはじめ多くの文化財修復専門家の意見をもらい、再建築を行う。 ・行政・地域住民(集落)との協議をもとに活動実施中。 ※大島架橋建設計画との調整(道路整備にあわせた再建計画を検討) ・地域NPO(今後)および外部の専門家・団体との連携				
	公開・活用状況	・個人宅として使用していたため、特別公開等は行なっていなかったが、希望があれば公開していた。				
	対象遺産の概要と被害状況	・気仙沼湾の東岸の岬に位置する、旧網元の民家で200年以上の歴史を有する。文化7年の御手伝帳から建築年代も確認されている。 ・全壊し津波により押し流されたが、約100m移動した位置で小屋組が発見された。長押しより上の部材は良好な状態で、大黒柱も3本見つかっている。				
	事業概要	・すでに4月から茅葺き屋根の解体、小屋組解体、瓦礫内からの部材救出等を実施してきた。 ・今後、気仙沼市の文化財として再建築・指定を目指すとともに、地域に根付いた文化財として活用を行う。				
	採択事由	・被災直後から地元住民や行政、専門家といった多主体の連携により修復保存に向けた取り組みが開始され、内外の注目も大きい。申請団体である保存会は、そうした関係者が主な構成員となり発足した会である。多くの文化財建造物が津波による壊滅的な被害を受けた気仙沼市にあって、市民の認知度も高い尾形家住宅の再建は、地域の復興にとってシンボリック性も高いと考えられる。				